

時代が求める企業の社会貢献とは？

ESDの視点から

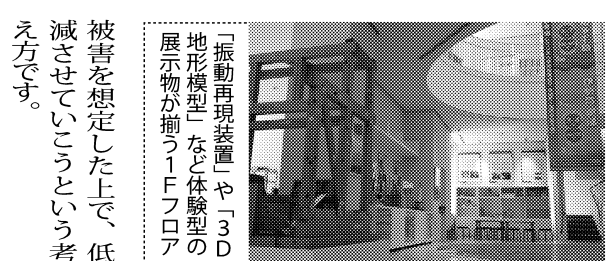


名古屋大学防災連携研究センター

国立大学法人名古屋大学内の研究拠点として2010年12月に発足。最先端の防災研究を行う。産学官民連携のためのハブ的な役割を担い、ヒト＝人材育成・連携、モノ＝教材・情報・技術、コト＝戦略・研究データの3つを結びつけることで地域全体の防災力向上を目指す。今年3月には新たに「減災館」がオープン。平時は研究・教育・協働の拠点であり、災害時には大学・地域の災害対応拠点としての役割を担う。

「名古屋大学防災連携研究センター」とは、どんな施設ですか？

福和 南海トラフ巨大地震や伊勢湾台風規模の台風に加え、産学官民様々な連携を通して、減災を実現するために、2010年12月に発足しました。



「減災と防災の違いは何ですか？」

福和 防災は、被害を出さないことを目指す総合的な取り組みに対して、減災はあらかじめ被害を想定した上で、低減させていくという考え方です。

ヒト・コト・モノの連携で減災を 新たな拠点「減災館」から世界に情報発信

名古屋大学防災連携研究センター センター長 福和 伸夫氏

「減災に向けて、具体的に何をすべきか。」「ヒト・コト・モノの連携で減災を」という発想で、今年3月に「減災館」がオープン。平時は研究・教育・協働の拠点であり、災害時には大学・地域の災害対応拠点としての役割を担う。

福和 減災のためのリーダーとなる人を育てることと同時に、人材育成が様々な出会いの機会となり、地域社会のつながりが築かれ、減災の大きな力になります。

「減災館」がオープンした。名古屋大学というフィールドに集うことで新たな連携が生まれる。さらに民間からの受託研究員、行政の防災担当者など、この場所には様々な人が集い、減災を研究したり、語り合ったり、学んだり、体験したりすることが可能になりました。これが減災情報発信の重要な課題です。

「減災への取り組みをESDの視点から見るとどうなるか？」

福和 ESDのキーワードは「持続可能な社会」です。持続可能な社会とは、自然環境・社会・経済の3つの柱がバランスよく保たれ、未来世代にわたって持続可能な社会を実現することです。

「持続可能な社会の実現」のための概念図

地球・人類、文化、食糧、エネルギー、経済、環境、社会、国際理解、気候変動、生物多様性、防災、貧困、人権・平和

「持続可能な社会の実現」のための概念図

地球・人類、文化、食糧、エネルギー、経済、環境、社会、国際理解、気候変動、生物多様性、防災、貧困、人権・平和

「持続可能な社会の実現」のための概念図

地球・人類、文化、食糧、エネルギー、経済、環境、社会、国際理解、気候変動、生物多様性、防災、貧困、人権・平和

「持続可能な社会の実現」のための概念図

地球・人類、文化、食糧、エネルギー、経済、環境、社会、国際理解、気候変動、生物多様性、防災、貧困、人権・平和

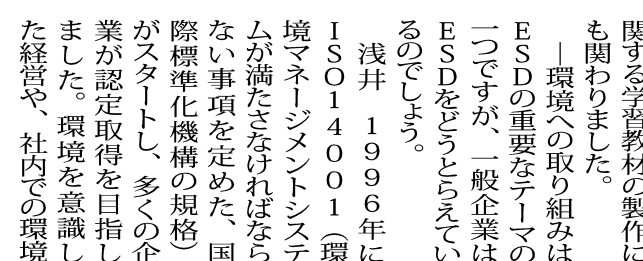
「持続可能な社会の実現」のための概念図

地球・人類、文化、食糧、エネルギー、経済、環境、社会、国際理解、気候変動、生物多様性、防災、貧困、人権・平和

11月にあいち・なごやで開催される「ESD ユネスコ世界会議」。ESD(Education for Sustainable Development)とは、すなわち「持続可能な社会の実現に向けた教育」を指す言葉。今、企業にとっても「持続可能」は重要なキーワード。CSR(= 企業の社会貢献)の考え方は、CSV(= 社会課題の解決を事業全体で実現)に進化しつつある。今回は、持続可能性を実現するために、企業がすぐに取り組むべき身近で重要なテーマ「環境」と「防災」にスポットを当てた。企業が社会に対して貢献できること、あるいはすべきことについて、環境と防災のそれぞれの専門家に「ESDの視点を踏まえて」語ってもらった。

ESDと御社の関係は？

浅井 2006年頃から弊社でもESDに着目して、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。



ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

「ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。」

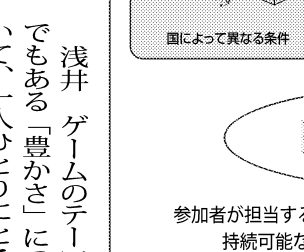
浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

高効率の追求は環境経営の第一歩 本場の「豊かさ」一人ひとりが考える時代

株式会社フルハシ環境総合研究所 所長 浅井 豊司氏

ESDと御社の関係は？

浅井 2006年頃から弊社でもESDに着目して、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。



ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境

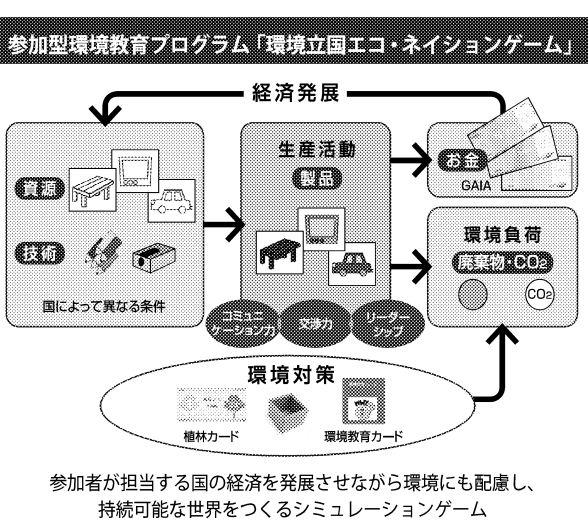
ESDの重要なテーマの一つですが、一般企業はESDをどうとらえているのでしょうか。

浅井 1996年にISO14001環境マネジメントシステムが導入された後、環境マネジメントシステムの重要性が認識され、国際標準化機構の規格「ISO26000」がスタートし、多くの企業が認定取得を目指しています。環境を意識した経営や、社内の環境



フルハシ環境総合研究所

事業所を活用した体験型イベントの開催や、普及・啓発活動、エコモのづくり、BCP(事業継続計画)のための企業コンサルティング、生物多様性をテーマにした社員向けの研修会、セミナーの企画、環境マネジメントに効果的なイベントやワークショップの開催、環境レポートの作成や社内外に向けたダイアログなど、「環境」をキーワードに、顧客のニーズに合わせたさまざまな事業展開を行う。



「環境立国エコ・ネイションゲーム」

参加者が担当する国の経済を発展させながら環境にも配慮し、持続可能な世界をつくるシミュレーションゲーム

「環境立国エコ・ネイションゲーム」

参加者が担当する国の経済を発展させながら環境にも配慮し、持続可能な世界をつくるシミュレーションゲーム

「環境立国エコ・ネイションゲーム」

参加者が担当する国の経済を発展させながら環境にも配慮し、持続可能な世界をつくるシミュレーションゲーム

「環境立国エコ・ネイションゲーム」

参加者が担当する国の経済を発展させながら環境にも配慮し、持続可能な世界をつくるシミュレーションゲーム

「環境立国エコ・ネイションゲーム」

参加者が担当する国の経済を発展させながら環境にも配慮し、持続可能な世界をつくるシミュレーションゲーム

「環境立国エコ・ネイションゲーム」

参加者が担当する国の経済を発展させながら環境にも配慮し、持続可能な世界をつくるシミュレーションゲーム

「環境立国エコ・ネイションゲーム」

参加者が担当する国の経済を発展させながら環境にも配慮し、持続可能な世界をつくるシミュレーションゲーム

好評!! 日刊工業新聞社の本

企業戦略に活かす! サプライチェーンのCO₂管理

「スコープ3」のカーボンマネジメント

●著者: 岩尾 康史
●A5判 ●定価1,800円(税別)

省エネ法や排出量取引に関する国際協力が進む中、企業のCO₂排出量管理に関する具体的な取り組みが課題になっている。とくにいま、一番問題になっているのがサプライヤーやクライアント企業、ユーザー、そして輸送関連、廃棄物関連業者までも関係する「スコープ3」のCO₂管理。これらの課題について初めて解説した一冊。

実践! BCP 運用マニュアル

災害対策の効率的な取り組み方と進め方

●著者: 中村 茂弘
●A5判 ●定価2,100円(税別)

「災害列島」と言われているわが国では、企業においても災害対策は欠かせない。本書は「リスク・マネジメントの活用実務」という局面から対策を模索したBCP(事業継続計画)の運用書。企業に及ぼす自然災害をいかに回避するか、実例を示して具体策を提示している。

好評!! 日刊工業新聞社の本

「スコープ3」のカーボンマネジメント

●著者: 岩尾 康史
●A5判 ●定価1,800円(税別)

省エネ法や排出量取引に関する国際協力が進む中、企業のCO₂排出量管理に関する具体的な取り組みが課題になっている。とくにいま、一番問題になっているのがサプライヤーやクライアント企業、ユーザー、そして輸送関連、廃棄物関連業者までも関係する「スコープ3」のCO₂管理。これらの課題について初めて解説した一冊。

実践! BCP 運用マニュアル

災害対策の効率的な取り組み方と進め方

●著者: 中村 茂弘
●A5判 ●定価2,100円(税別)

「災害列島」と言われているわが国では、企業においても災害対策は欠かせない。本書は「リスク・マネジメントの活用実務」という局面から対策を模索したBCP(事業継続計画)の運用書。企業に及ぼす自然災害をいかに回避するか、実例を示して具体策を提示している。

2014年はESDイヤーです!

ESDとは

Education for Sustainable Developmentの略で、持続可能な社会を支える担い手づくりの取組です。

ESDユネスコ世界会議開催

2014年11月10日~12日 / 閣僚級会合、全体会合など
11月13日 / フォローアップ会合

会場 名古屋国際会議場

ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会

http://www.esd-aichi-nagoya.jp